

備 前 市 事 務 事 業 評 価 表

事務事業名	愛育委員会事業		コード	担当課係
			02-02-06-01	担当者 保健課 健康係
事業実施期間		昭和46年4月		電話 64-1820
総 合 計 画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目	健やかで生き生きしたまちづくり		
	小項目	健康づくり		
	施 策	健康診査受診啓発活動		

事業について	
目 的	市民が健康診査等を活用して生活習慣を見直し、「自分の健康は自分でつくる」という意識を広めるために、健康づくり推進者として愛育委員会を育成し、市民の健康づくりをすすめる。
対 象 (誰のために)	愛育委員
内 容	健診の対象者調べ、健診受診勧奨、愛育委員の資質向上のための研修会を実施

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果													
実施項目		17年度											
		回 数 な ど		(単位)		回 数 な ど		(単位)		回 数 な ど		(単位)	
健診対象者調べ		実		15,764 世帯									
受診票配布数		延		62,832 人									
受診票配布委員数		実		410 人									
委員研修会（対象者調べ）		実		330 人									
委員研修会（受診勧奨）		延		1,193 人									
事業費 (単位：千円)		事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
		直接事業費	3,778	国県補助金等	62	直接事業費		国県補助金等		直接事業費		国県補助金等	
		人件費	10,377	受益者負担		人件費		受益者負担		人件費		受益者負担	
				市債				市債				市債	
		合計	14,155	一般財源等	14,093	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0
必要人員		1.62		人				人				人	
結果指標①	結果指標名	委員研修会（対象者調べのための研修）の参加数											
	結果指標量	330											
	単位	人											
	対前年比	—											
	事業費	14,155,000 円				円				円			
	単位当たりコスト①	42,894 円				円				円			
結果指標②	結果指標名	委員研修会（受診勧奨のための研修）の参加数											
	結果指標量	1,193											
	単位	人											
	対前年比	—											
	事業費	14,155,000 円				円				円			
	単位当たりコスト②	11,865 円				円				円			

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
成果指標名	委員研修会の参加率	式又は説明	委員研修参加人数／愛育委員総数
17年度			
成果指標量	80.5%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	83.0%	到達目標年度	平成20年

(平成17年度事業)

事務事業の評価		課題認識	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等 備前市愛育委員会規則	備前市条例で目的が定められており妥当である。保健行政の推進と市民の健康増進を図るために、愛育委員が健診の受診勧奨等を通して、地域住民に健康づくりの知識の普及啓発を行うことは、市民ニーズにも対応しており、有効な事業である。また、その活動を支援することは、行政の役割である。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	研修会に参加することで、委員自らが知識を深め、「健診を健康づくりの手段とする意義を広める」など地域ヘフィードバックすることができている。今後、個人情報保護等の観点から、これまでの方法を見直す必要がある。より多くの市民が健診の機会を知ることができる方策を検討する必要がある。
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	愛育委員は、受診勧奨等を通じて、受け持ち地区全体の健康実態を把握しており、地域と行政との橋渡しとしての役割を担ってきた。行政へ意見を反映させたり、自主活動をする中で、委員自身がやりがいを持って活動できており、今後も行政との協働で健康づくりを進めていけるよう支援が必要。
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価		評価区分
コ メ ン ト	愛育委員は市内全域で委嘱され、行政とのパイプ役として、受け持ち地区の健康づくりを推進してきた。しかし、個人情報に関わる現代、これまでの受診勧奨方法には見直しが必要。今後、愛育委員の自主的な活動を中心とした受診勧奨の方法へと転換する必要がある。委員研修を重ね、「自分の健康は自分でつくる」という意識を広めるための新たな普及活動の検討が必要。	<A～E> B

今後の方向性					
<input type="checkbox"/>	さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)		<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する	
<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する		<input type="checkbox"/>	休止・廃止を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/>	見直しのうえで継続する		<input type="checkbox"/>	完了・統合	
翌年度	結果指標量①	336	結果指標量②	1,560	
目標値	成果指標量	82.0%			

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	手段の最適化 ・対象者調べ、個別受診票の廃止 ・健診の意義や受診機会の周知を図るため、全戸への健診案内を配布 ・委員の自主活動による受診勧奨 ・委員会組織の強化	H18.4～	・個人情報の保護 ・今まで未受診で健康づくりに無関心だった者への情報提供の機会となる ・委員が自ら学んだ知識の伝達により、やりがいを持った地域活動が図れる。